もみじ福祉会　ニュース

がんばろうや

2005年8月　第41号

発行／社会福祉法人
もみじ福祉会
MOMIJI

第一もみじ作業所（知的）　第二もみじ作業所（身障）
グループホーム　つばさ／たんぽぽ／夢トピア
身体障害者福祉ホーム 夢トピア
もみじヘルパーステーション 夢トピア
障害者生活支援センター めーぷる
〒730-0823　広島市中区吉島西２－１－24
TEL082-243-0331 FAX082-243-0497
HP:fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの（骨子）

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1．仲間（利用者）の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2．地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3．事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4．これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

紙芝居におばあちゃんも感動

夢トピア地域交流まつり　開催

七月九日（土）、もみじ福祉会後援会主催で「夢トピア地域交流まつり」を開催しました。

今回のまつりは、多くの方々のご支援で夢トピアが開所して二年目を迎えることが出来た感謝の思いと、より多くの方達に夢トピアを知っていただき、さらに交流を深めていきたいという思いでの開催です。

当日は、あいにくの雨で足元が悪い中、いつもお世話になっている地域の皆さんをはじめ、多くの方に来ていただくことができ、おかげ様で賑やかな交流まつりとなりました。

まつりの開始は仲間（利用者）と職員による元気いっぱいの「舞太鼓」

テーマは「平和」

地域交流まつりのメイン企画は、被爆六〇周年ということもあり、「平和」をテーマにしました。

法人化運動、そして夢トピア建設運動では、うたごえを通じてずっと支援して下さっている「広島合唱団」の皆さんに、「平和と愛」のうたごえを響かせて頂きました。歌を歌うことで心が開放され、心地良い連帯感を味わうことが出来ました。

また、緩急車雲助さんには、「昭ちゃんの原子爆弾被爆体験記」という紙芝居をしていただきました。お話の中では、今年五月のNPT（国連の核不拡散条約）再検討会議でニューヨークに行かれた時のことも語って頂きました。終了した時には、老人保健施設のピア観音の方達が、「本当にこの話の通りじゃった。」「いい話を聞かせてもらいました。ありがとうございました。」「おばあちゃんも被爆体験があるんです。思い出して泣いています。」…と緩急車さんと涙を流しながら握手されている光景は感動的でした。緩急車さんの「もう二度と核兵器を使わせてはいけない」「平和は絶対に守らなければいけない」という強い信念が、語りの中で伝わり、真摯な思いになりました。

雲助さんの紙芝居とお話に涙…

いつも愛にあふれたうたごえをありがとう（広島合唱団）

地域の皆さんありがとう

また、第二土曜日に地域交流スペースを利用されている「こすもすの会」が木工・ヨーヨーなどの遊びのコーナーを受け持ち、まつりを盛り上げて下さいました。そして、西区社協のボランティアさんなど、多くの方々がたこ焼き・焼きそばなどの出店を手伝って下さいました。

さらに、開催にあたっては、地域の町内会・お店等では、チラシの配布・ポスターの掲示、物品の借用など、快くご協力頂き、地域の皆さんのご理解なしでは、様々な取り組みを成功させていくことは出来ないことを実感しました。

また、地域にある老人保健施設「ピア観音」からは、入所されている方・ご家族・職員さんたちがたくさん来て下さり本当に嬉しく思いました。

今回出来た新しい「人の輪」をこれからも大切にしていき、今後も地域の皆さんと様々な形で交流を深めていきたいと思います。

ご協力下さった多くの皆さん、本当にありがとうございました。

届け！みんなの声

障害者自立支援法案反対
7・5緊急大行動

七月になって思い出したように振り出した梅雨は、前日の四日も一段と激しくなり、飛行機や新幹線への影響で、参加者が減るのではないかと心配するほどでした。

朝七時四十分の新幹線には、もみじの他、ひとは・くさのみ・おおぞらの各作業所から十八名が乗り、広島からは五十名を超える参加者がありました。

途中大阪、京都、名古屋からも車いすの人たちが乗り込み、みんな緊急大行動に参加するんだと思うと力が湧いてきました。

東京駅から日比谷野外音楽堂に移動すると、既に会場はほぼ一杯で熱気にあふれていました。参加者数の発表が増えるたびに歓声がわき、一万一千名が集まったこの集会、厚労省は「応益負担反対！」の声を真摯に受け止めて欲しいと思いました。

二時からのデモは、野外音楽堂から国会議事堂、自民党本部までのわずか二キロの間を二時間かけて行進。すべての国会議員に応益負担反対のシュプレヒコールが届けとばかり、みんなで声を張りあげました。

当日は三十度を越す気温にもかかわらず、全国津々浦々から、また人工呼吸器をつけて参加されている人など、まさに命をかけて訴えられる姿に大きな力を頂きました。

闘いはまだまだ続くと思いますが、最後まであきらめることなくがんばろうと誓い合った元気の出る集会でした。（4面に関連記事）

「応益負担絶対反対！」１万1000人の大行進

新たにスタート！ひまわり会 今年も色んなひまわり さかせたい！

今年度も、役員・委員改選があり、新体制がスタート。
フレッシュ？で力強い仲間の代表ばかりです。

もみじ作業所には仲間自身で運営する自治会「ひまわり会」があります。
自分たちの生活は自分たちで主体的に考え、協力しあい、要求実現に向けて行動していこうと、1993年に発足しました。
自治会には役員会や4つの専門委員会が設けられ、そのメンバーが核となって、様々な活動をしています。

専門委員会 各委員会には役員会メンバーが1名入り、役員会と専門委員会のパイプ役を担い、みんなの委員会となるようにしています。

生活委員会

作業所での普段の生活を自分たちの手で作っていくことを考えます。
・朝のリクエスト曲の録音
・放送当番
仕事や休憩時間などの開始・終了を知らせます

4名
太平克也 笹木亮子 宮崎泉

広報委員会

自治会の機関誌ニュースを作成し、もみじの仲間へはもちろん、外部の方達にも自治会活動や作業所の事を知らせます。そして理解を広めます。

4名
尾崎綾子 小西まり 橋本幸子 豊久淳子

役員会 5名

会　長：橋本幸子
副会長：佐伯　勝・小西まり
書　記：太平亮子
会　計：木村　泉

役員会は仲間の代表という自覚をもって、みんなの意見を聞き、伝え、討議し、行動していきます。

今年度は特に、自分達の将来を左右する障害者自立支援法案が導入されようとしている年。それだけに例年実施している楽しい企画、外部との交流の他、情勢学習にも力をいれていかなければと思っています。がんばるぞーー！

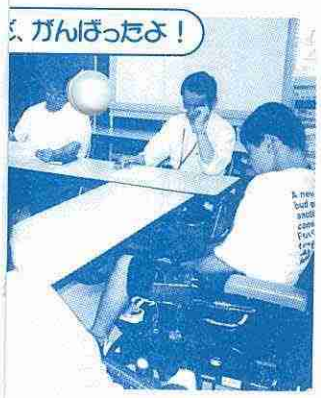
2005年度 自治会主催の取り組み予定

◇スポーツ企画

4種目（ゴロ野球・卓球・カローリング・ペットボトルボーリング）の中からやりたい種目を選択。スポーツで身体を楽しく動かします。

◇ピクニック

みんなで外に出てお弁当たべたり、ゲームをしたり、ゆったり楽しい時間を過ごします。昨年は直物公園に行きました。



□所長交渉

自治会への予算要求も含め、みんなから出された要求や質問を自治会役員で集約し、所長と交渉します。

フレフレ MOMIJI 応援団

もみじとの出会い

円奈和子さん

もう一二年になるでしょうか、もみじパン・クッキーとの出会いは。近所の方から『添加物の入っていない体にやさしいパン』という評判を聞いて購入したのが始まりでした。そのころは、知っている人は少なかったと思います。おいしいので、私はお友達にちょっとしたときのプレゼントにしたりしていました。友達からは好評で、購入したいという方が次第に増え、グループで注文するようになりました。この頃、もみじ作業所のほうでも、中学校のPTAバザー、もみじ夏まつり、地域販売など次々に販売が広がり、地域の人が知るきっかけが多くなりました。以前、友達に誘われて、作業所のクッキー・パングループで袋詰めのボランティアをしていましたが、その時に作る人の優しい心とチームワーク、清潔で明るいこの雰囲気がおいしさの源だと思いました。

週一回、焼きたての香りとともに、商品を作業所の仲間の方が届けてくださいます。それから、私が自転車で一軒ずつ配ります。もみじのパン・クッキーがとりもつこのひとときを大切に思っています。また商品の注文の変更や意見についても何でもお聞きし、ひとつの声として参考にしてもらうよう、作業所の方にお伝えしています。

長い間には、注文する量が私の関係した分については、転居や子供の成長とともに家の人数が減ったりなどで少なくなってきていますが人気は定着したように思います。

季節のあんパン、季節毎に替わる型抜きのオリジナルクッキーは楽しみのひとつです。これからも季節の移り変わりを楽しみつつ、いつまでもおいしさを求め続けてください。

毎週、パンやクッキーを買ってくださる円奈さん。そのことで、しっかりと地域ともみじをつないでくれています。また、料理クラブのボランティアさんとしても長年お手伝いいただいています。素敵な笑顔と、相手をほわっと包み込んでくれる人柄で、仲間たちにとても慕われています。

インフォメーション

2005 広島のうたごえ祭典
日時：9月23日(祝)
10:30～16:30
場所：安佐南区民文化センターホール

コンサート♪出演決定♪

日本のうたごえ祭典 in ひろしま2005
日時：11月4日(金)～6日(日)
場所：アステールプラザ グリーンアリーナ　他
うた&たいこで参加します!!

研修報告

ススメ ススメ マエへ

夢を形に委員会

伊世伸一
小坂泰嗣
佐伯　勝
中田喜直
矢野紀子

将来への夢（将来構想）を実現するためにどうしていくか考え、資金づくりも含め、活動しています。

虹の会もみじ担当

芥川
伊世伸一
小坂泰嗣
橋本幸子

色々な作業所の仲間と共同・協力・連携し、きょうされんの方針に基づいて主体者として活動していきます。

※虹の会とは：
きょうされん広島県支部加盟
作業所の仲間の会

◇クリスマス会

年に1度この日はおしゃれしてホテルでクリスマス☆
各授産毎に一つ企画を担当します。

◇各学習会の開催

- 障害者自立支援法など情勢についての学習
- 給料についての学習
- その他

仲間一人一人が、
ひまわり会の
素敵なメンバー。
そのみんなで、
もっともっと素敵な
作業所になるよう
がんばるぞっ！
応援をよろしく
お願いします。

きょうされん 中国ブロック研究交流会 6月26・27日

六月二六・二七日に鳥取で「きょうされん中国ブロック研究交流会」が行われました。

一日目は講演を聞きました。障害者自立支援法のことをきいて、作業所に行くのが難しくなるのではないかと改めて思いました。

二日目は、仲間の分科会に出ました。その分科会は五つのテーマがあって、各作業所の仲間のいろんな楽しみ方があっていいなと思いました。

印象に残ったのは、鳥取の授産施設ピーターパンの発表で、DVDのダビングの仕事をしているという内容でした。そのような仕事があるんだということを知り、僕もやってみたいなと思いました。

（佐伯　勝）

きょうされん 第3回暮らしの場交流会 7月1・2日

七月一・二日に東京で開催された「第三回暮らしの場交流会」に参加しました。私が参加した分科会では「生活の豊かさや地域の広がりをつくる支援」をテーマに三本のレポート発表がありました。

福井県の入所施設職員からの報告からは「土・日の活動を有意義なものにしていきたい」そのために施設独自でガイドヘルパーの制度を作り、地域の方たちと一緒に外出をして余暇を楽しんでいるという報告がありました。しかし、重度の障害を持つ仲間たちの支援を地域の方たちでは対応が困難であったり、登録してくれるヘルパーさんの人数確保の問題などがあげられました。

大阪府のグループホーム（GH）職員からは、暮らしの中で「こんなことしたい」「○○が欲しい」など、自分の思いを出せる環境作りの大切さを報告されました。

その中で「豊かな生活」というキーワードに参加者からいろいろ意見がだされました。

その中で、年齢や環境によって一人一人の「豊かさ」は違うもの、健康に暮らすことや日中活動や余暇活動の充実、所得保障も豊かさを支える大切な視点という意見が交わされました。

私自身、生活の中で「豊かさ」を深く考える機会は幾度もなく改めて私も含め地域の豊かさや障害のある方の豊かな生活を考えるきっかけとなりました。

また現在、障害者自立支援法案では、金銭的にも、体制面でも、非常に厳しくなる内容が提案されており、豊かな暮らしを目指す制度とはとても思えないものです。

障害のある方たちの現状や要求を多くの人に伝え理解を広げる運動につなげていきたいと思います。

（田中　茂雄）

きょうされん 新任職員研修会 7月9・10日

七月九・一〇日の二日間、三次市甲奴町にある社会福祉法人あらくさできょうされん新任職員研修に参加しました。

一日目は、呉ベタニアホームの所長である里村佳子氏の「社会人としてのマナー」、あらくさの統括施設長である寺田朱美支部長の「わたしときょうされん」、福山市立女子短期大学の高橋実氏の「作業所と記録」という講演、最後に井上所長から自立支援法に関する情勢報告がありました。

里村氏はマナーとは表面だけきれいに見せればよいというものではなく、心を込めるか込めないかで大きく違ってくると言われていました。やはり人と人との関係は、心と心のつながりなのだと改めて感じました。寺田支部長からは、きょうされんとの出会いを含め、ご自身の経験を話していただきました。自分史として表を書かれており、自分自身を振り返ることの大切さを学びました。高橋氏の講演の中では、実際にビデオを見て、ある仲間の様子を書き留めることをしました。誰が見ても分かるように書くことが大切だと言われていました。書き方一つでその後の支援へも影響するのではないかと感じました。最後の自立支援法に関する報告は、改めて国に訴えていく必要性を痛感するものでした。

二日目は、少人数でバーチャル作業所の目的や理念、課題等を話し合いました。

この二日間素晴らしい講演を聞かせていただき、また他の作業所の職員と多くの意見や考えを交換できた貴重な時間でした。

（西村　幸子）

初めての研修…ちょっぴり緊張気味

行事日誌

4月

1日　第一第二もみじ作業所2004年度総括会議（～2日）
6日　もみじ作業所地域販売デー
24日　生活支援センターめーぷる主催・ミニ講演会相談会
22日　越智さん母子見学来所
28日　お年玉寄付金交付式
30日　もみじ福祉会主催・自立支援法学習会

5月

3日　フラワーフェスティバル出店（～5日）
8日　広島県母親大会出店
11日　もみじ作業所地域販売デー
12日　自立支援法・全国緊急フォーラム(東京)
13日　刑務官研修来所
14日　もみじ福祉会内部監査
　　ナイスハートスポーツ大会参加
15日　広島市知的障害者ボウリング大会参加
16日　きょうされん・虹の会総会参加
19日　もみじ作業所ディキャンプ（瀬野川公園）
22日　知的障害者親善球技大会参加
23日　もみじ福祉会第26回評議員会・第62回理事会
29日　広島市障害者陸上競技大会参加
　　自立支援法・応益負担反対決起集会参加

6月

1日　もみじ作業所地域販売デー
　　きょうされん全国総会参加（～2日）
2日　避難訓練①、YMCAより見学来所
3日　生活自立訓練開所式、西村さん母子見学来所
7日　山口県田布施養護学校見学来所
9日　もみじ作業所ボウリング大会
13日　文教女子大実習開始（～28日）
14日　司法修習生実習交流来所、NHKより支援法関連取材
16日　クラブ活動①
20日　きょうちくとうより見学来所
21日　なりさだ氏等見学来所
22日　鳥羽学生無年金裁判－高裁①
30日　ひかり協会連絡会議

7月

2日　福保労もみじ分会総会
3日　もみじ福祉講座①
5日　第12回もみじ作業所まつり第1回実行委員会
　　自立支援法「7.5緊急大行動」(東京)参加
6日　もみじ作業所地域販売デー
7日　クラブ活動②
9日　もみじ福祉会後援会総会
　　第1回夢トピア地域交流祭り、もみじ福祉講座②
17日　「生命の詩」和太鼓特別講習会参加
21日　もみじ福祉会第63回理事会
22日　高知ふれあい作業所見学来所
23日　もみじ福祉会ガイドヘルパー養成講座①
24日　もみじ福祉会ガイドヘルパー養成講座②
26日　広島市・もみじヘルパーステーション夢トピア実地指導
27日　歯の衛生学習、なぎさ園見学来所
28日　こやたに氏見学来所
30日　もみじ福祉会ガイドヘルパー養成講座③
31日　もみじ福祉会ガイドヘルパー養成講座④

■募集！■

ホームヘルパーさんを募集しています！

もみじヘルパーステーション夢トピアでは、障害のある方への支援事業として、居宅介護、外出支援を行っています。
やる気・元気を持った笑顔がステキなヘルパーさんを募集しています。

※ヘルパー1・2級、ガイドヘルパーの資格をお持ちの方。

社会福祉法人　もみじ福祉会
もみじヘルパーステーション 夢トピア
サービス提供責任者　江川　正仁
TEL (082) 503-5753
FAX (082) 295-0303
E-mail : help-st@fukushi-momiji.or.jp
広島市西区観音新町3-9-9

MOMIJI

梅原司平ときょう
仲間たちコ

日時：10月16日(日)
14:00～
場所：アステールプラ
大ホール

広響との
ジョイントコ

日時：12月22日
場所：国際会議場

こんな悪法 母は許さん！

「自立支援法案」7.5緊急大行動に参加して

七月五日、東京での「このままの〝障害者自立支援法案〟では自立はできません！7・5緊急大行動（1面既報）」には、もみじ福祉会の保護者会からも二人の母親が参加しました。

しかし、七月十五日には、大多数の障害者・関係者の悲痛な叫びを無視して、衆議院本会議にて与党議員の賛成多数で本法案を採決しました。

「子供のために、障害者のために」と怒れる母親の声を厚労省は聞かれたし！

同じ思いを持った人たち一万一千人のデモ行進が延々と続きました。あんなにたくさんの車椅子を見たのは初めてです。座位がとれない方、気管切開でチューブをつけた方、彼らにとっては三十度の蒸し暑さの中、命をかけてのデモ行進でした。この自立支援法では生きていけないという切実な思いの集会でした。彼らの思いはデモ行進に何時間もずっと手を振ってくださった民主党、社民党、共産党の議員さんには通じたと思います。

私も胸が詰りました。

作業所の利用料と食費で三万円以上負担が増えようとしていたのです。障害が重い人ほど負担が増えるのです。ぜいたく品を買うのではなく、生きるためにご飯を食べさせてもらったり風呂に入れてもらったりトイレ介助してもらったりの生きるための最低限の介助に一割負担。足である車椅子に一割負担。生きることが戦いのような障害の重い人に、国は「自立支援法」という名前までつけて出された法案。そんな怒りが国会を取り巻き、延々とデモ行進は何時間も続きました。今まで見たことのないほどの運動の広がりに気持ちは晴れやかでした。

わかって欲しい議員の方は出てきては下さいませんでしたが、世論の力を広げていくしかありません。一生懸命がんばっている人たちが未来に希望が持てる制度になるように、共にがんばりましょう。

伊世　澄子

「許さない！」母二人

「自立とは、厚労省とけんかすること！」（ゼッケンより）

この大集会にもみじ作業所からは八人の参加です。

新幹線の中で、障害八団体の「役員」の人達は応益負担を承諾したとの報道の話を聞き、反射的に今日は力一杯を出し切ろうとがんばりの精神です。

東京は前日の雨も上がり暑い日に。日比谷野外音楽堂周辺には全国から一万人以上の障害者・関係者が集まり、経過報告・メッセージ・アピール採択等が行われ、続いて国会への二㎞のデモ行進。国会・政府・社会に向かって声高らかに思いを訴えました。この大いなる声は充分に届いたと思いましたが、残念なことに、十日後には衆議院で法案が通ってしまいました。

重度の者ほど負担増の大変な時代への突入でしょうか。所得の無い者には負担はできません。尾辻厚労相様、お願いです。お支払い致しますからそれに見合った所得が確保できるようにして下さい。

許田侑樹枝

「高裁でもがんばろー！」

広島学生無年金訴訟　控訴審始まる

六月二十二日、広島高等裁判所にて広島学生無年金訴訟・控訴審の第一回公判が行われました。

全国九地裁で始まったこの訴訟。既に、東京、新潟、広島、福岡各地裁で原告側勝訴の判決を勝ち取りました。

しかし東京高裁控訴審訴訟及び、京都地裁・札幌地裁の判決では原告敗訴の不当判決が出されています。

二十二日は、満席の傍聴者の中、双方の弁護団による今後の進行等に係わる意見が交わされ、最後に鳥羽さん（お母さん）の意見陳述がありました。

第二回公判は九月五日です。願いつつ、紙面の制限から陳述引き続き皆様の力強いご支援を の最後部分のみを紹介します。

陳述書（抄）

３月３日の判決で、橋本裁判長は「原告は両親の献身的な介護により辛うじて生活を営む。将来の不安は払拭できないが、これを放置することはできない」と私共にねぎらいの言葉をかけられ、深く心に残り有難い気持ちで一杯でした。

判決後、もうこれ以上、原告を苦しめる控訴をしないでくださいと、控訴断念のお願いに上京致しました。控訴期限ぎりぎりの３月16日、厚生省年金局長に控訴断念のお願いの直後の私の目前で、控訴を断言されました。余りにも非人間的な発言と原告を目前の場所で、怒りで一杯でした。

東京地裁、新潟地裁でも国は控訴しているので承知の上で、或いはひょっとしてと藁（わら）をもすがる思いの訴えでした。これで、国は苦しんでいる障害者や家族に冷たいことが身にしみてわかりました。

これから高裁で審議され、まだまだ裁判は続いて参ります。年老いた私達にはとても辛いことですが、弁護士の先生や皆様に励まされて、秀範をはじめ、多くの無年金の方々が救われて障害年金が受給できますように、頑張って参ります。

裁判長様、裁判官の皆様、どうぞ公明正大なご判断を下さいますように、切にお願い申し上げます。

ガンバロー！

輝け!! New Face

五月一日より夢トピアの生活支援員として仲間入りさせて頂いています。

仲間達の元気を種に共に笑い合い、共に成長し続けたいと思っています。

どうぞ、宜敷くお願いします。

玉井（たまい）　清子（きよこ）さん

六月からもみじで事務として働いております。福祉会計や仲間達のお世話を自分なりに一生懸命頑張っていますが、全てが初めての事で職員の方や仲間達から色々な事を勉強させていただいています。

どうぞ宜しくお願いします。

江島（えじま）　邦明（くにあき）さん

七月からもみじ福祉会で送迎運転をすることになりました。

みんなを安全に送迎できるようにしますので、宜しくお願いします。

まだ、わからないこととかがありますので、みなさんの指導のもと、元気よくやっていきますので宜しくお願いします。

久保（くぼ）　幸三（ゆきぞう）さん

七月より新しくみなさんの仲間の一員となりました。

段ボールグループの指導員として勤務します。

未熟な点がたくさんありますが、一つ一つ仲間と頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

益中（ますなか）　宣智（たかのり）さん

後援会コーナー

後援会費を納入頂いている、　個人・団体の皆様

（2005年３月～６月まで、敬称略）

武居　芳子
二階堂邦子
中野　斉子
仲田　仁
大塚　貞子
本保富美子
濱村　孝正
梶原しのぶ
五島　平夫
佐藤　雅幸
野津　春夫
野津　訓子
林　雅史
森安満千代
江島　邦明
住谷　京子
堀田哲一郎
高木　里栄
高木　円
小鷹狩正八
森脇　圭司
中川　裕子
寄本　克枝
長尾夫佐子
溝本　松彦
友安　和子
小谷恵美子
田丸　剛
石原　晴子
中川　恵子
槙本満寿江
田辺　操子
坂下　寿子
栗田　朱美
中島　久子
後　すみえ
繁村ツヤコ
桑原　悦子
高橋美喜子
菊田　郁子
香川紘一郎
坂上ルミエ
大内　智
水田　孝行
林　友三
河野　務
加藤寿美子
保護者会
正田保険事務所
なかよし保育園
丸福建材工業㈱

（2005年３月～６月）

ご寄付 ありがとうございました

中村松代様、　イケダシゲキ様、　五島平夫様、
もみじ福祉会後援会様、　第７回ともだちコンサート実行委員会様、
福ちゃんの会(松尾)様、　カンパ箱

寄贈 ありがとうございました

絵画）　井手野百合子 様、　高増径草様(物故作家)
縫製補助具）　三浦孝治様

年賀寄付金配分助成ありがとうございました

刺繍機能付きミシン）　日本郵政公社様